

≪第15期「BRI経営塾」セッション2との合同開催≫

# 富士フィルム・日本アイ・ビー・エム/事業管理責任者ご発表による グローバル・イノベーション最新経営の推進

■ 日 時 ■ 2017年 12月12日 (火) 13:00~19:15  
 ■ 会 場 ■ 「アイビーホール」(東京・表参道) TEL: (03)(3409)8181

■ 講 師 ■ ①富士フィルム(株) 経営企画本部イノベーション戦略企画部長 後藤 孝浩 氏

1987年名古屋大学大学院 工学研究科修了後、同年富士写真フィルム(株)入社1999年足柄研究所 主任研究員、2004年R&D統括本部 材料研究本部 印刷材料研究所 研究部長、2008年R&D統括本部 エレクトロニクスマテリアルズ研究所 所長、2015年経営企画本部 イノベーション戦略企画部 次長を経て、現在に至る。

■ 講 師 ■ ②日本アイ・ビー・エム(株)Watson カスタマー・エンゲージメント事業部 事業部長 樋口 正也氏

日本 IBM1993 年入社。大和研究所、本社等にてソフトウェア関連事業、クラウドコンピューティング事業の立ち上げを行い、2009~2010 年に米国ニューヨーク本社に赴任。2011 年の震災直後より東北の復興支援、スマートシティ事業などに関わり、2012 年より東北支社長、2013 年北海道・東北支社長、2014 年 7 月よりパートナー・アライアンス事業部ソリューション事業部長、Watson 事業部 EcoSystem 担当 事業部長を経て、現職。

## ◆ 開催にあたって

近年、日本企業においては、高いレベルで、付加価値を生み出す新規事業の育成が不可欠であります。グローバル超競争時代に求められる、ビジネスモデルの変革並びにイノベーションを生み出す環境・マネジメントスタイルの違いさらには顧客を中心とした事業戦略につきましても、日米を代表する企業2社より施策を学ぶものです。ぜひ、関係各位のご参加をお勧め申し上げます。

### ●受講料●1名 (税込、資料、懇親会費含む)

正会員	59,400円 本体価格 55,000円
一般	62,640円 本体価格 58,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。着信確認のご連絡後、受講票・請求書をお送り致します。

●お申し込み後のキャンセルは原則お受けいたしかねます。お申し込み者をご出席できない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

社団法人企業研究会 担当：福山

E-mail fukuyama@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5丁目7番地2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951~2

企業研究会セミナー事務局 福山行 **FAX03-5215-0951~2**

170047-0101	2017.12.12
申込書 「富士フィルム、日本IBMによるグローバル・イノベーション」	
会社名	フリガナ
住 所	〒
TEL	FAX
e-mail	
ご氏名	フリガナ
	所 属 役 職

\*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

## ●プログラム ●

12月12日(火)

<p><b>講演1部</b> 13:00        15:00 (休憩)</p>	<p>①『富士フィルムの第二の創業』 ～危機からの脱出とグローバル事業拡大～</p> <p>■富士フィルム(株) 経営企画本部 イノベーション戦略企画部長 後藤 孝浩 氏</p> <div data-bbox="247 454 1492 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>2000年代、富士フィルムは本業消失の危機に陥ったが、技術の棚卸しを行い、新たな成長戦略と重点事業を明確にした。それを達成するために、次々とR&amp;D拡充、M&amp;Aを行い、第二の創業を加速させ、R&amp;Dや事業の拠点をグローバルに展開した。その歴史を事例を交えながら説明し、聴衆の方々と相互に意見交換することで、グローバル展開を効率よく行なう処方を見出せば幸いです。</p></div> <ol style="list-style-type: none"><li>1. グローバルの定義</li><li>2. 危機からの脱却ストーリー</li><li>3. 新規事業戦略</li><li>4. R&amp;Dの拡充</li><li>5. M&amp;Aの推進と新興国戦略</li><li>6. グローバル市場拡大プロセス事例</li><li>7. グローバル人材の育成</li><li>8. 今後の課題</li></ol>
<p><b>講演2部</b> 15:10       17:10 17:15  18:15  19:15</p>	<p>②『IBM Watson 最新動向と事例』 ～Watson×Marketingへの応用～</p> <p>■日本アイ・ビー・エム(株) Watson カスタマー・エンゲージメント事業部 事業部長  樋口 正也氏 氏</p> <div data-bbox="271 1402 1500 1581" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>IBM Watsonは、どのような形態の非構造化データも扱うことができ、理解・学習し、仮説を立てて推論する、新時代を切りひらくコンピューターとしてすでに実用段階に入っています。企業での導入と並行して各社のユースケースも多様化してきています。国内外での最新事例、さらにWatsonの発展した活用としてDigital MarketingやECと合わせて活用したケースなど最新の動向をお伝えします。</p></div> <ol style="list-style-type: none"><li>1. IBM Watsonの概要と最新動向</li><li>2. Watsonを活用した国内外でのお客様の事例</li><li>3. Watson×Marketingへの応用</li></ol> <p><b>全体討議</b></p> <p>「日・米トップ企業によるグローバル・イノベーション経営スタイルについて」のレビュー 進行：元アクセンチュアシニアパートナー 油井 直次氏</p> <p><b>懇親会</b></p>